

作成日：2023年4月25日（第3版）

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学消化器内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和元年6月 福島県立医科大学医学部消化器内科学講座
講座主任 大平 弘正

【研究課題名】自己免疫性肝疾患における病態関連マーカーの検索

【研究期間】平成27年7月～令和7年5月

【研究の意義・目的】自己免疫性肝炎（AIH）と原発性胆汁性胆管炎（PBC）は、いずれも病因が不明である難治性の自己免疫性肝疾患です。病態解明のためには、その病態と関連したマーカーが必要であり、その探索は急務です。近年、Cytokeratin-18（CK-18）は細胞のapoptosisやnecrosisを示す指標として考えられており、非アルコール性脂肪肝炎（NASH）で上昇することが報告されています。自己免疫性肝疾患の病態とCK-18の関連については、まだ十分に理解されていません。また、25（OH）ビタミンDが自己免疫性肝炎と関連があることが報告されています。今回、自己免疫性肝疾患における血清CK-18値（M-30、M-65）、25（OH）ビタミンDについて病態との関連性を検討することとしました。

【研究の対象となる方】

当院で1990年1月以降に自己免疫性肝炎（AIH）と診断された患者さんを対象者とします。また、比較対象として、原発性胆汁性胆管炎（PBC）と診断された患者さん、ウイルス性慢性肝炎と診断された患者さん、薬物性肝障害と診断された患者さん、非アルコール性脂肪肝炎と診断された患者さん、全身性エリテマトーデスと診断された患者さん、健常者の方も対象とします。

【研究の方法】

自己免疫性肝疾患、比較対象患者及び健常者の血清を用い、ELISA法でCK-18（M-30、M-65）、25（OH）ビタミンDを測定する

↓

自己免疫性肝疾患に対する特異度を検討する

↓

自己免疫性肝疾患におけるCK-18、25（OH）ビタミンDに関して、

臨床検査値や肝組織所見を用いて臨床病態との関連を検討する



統計を用いてデータ詳細に解析



学会・論文にて報告

【研究組織、研究機関名】

研究責任者（所属）消化器内科学講座（職）教授（氏名）大平弘正

主任研究者（所属）消化器内科学講座（職）講師（氏名）阿部和道

研究分担者（所属）消化器内科学講座（職）准教授（氏名）高橋敦史

研究分担者（所属）消化器内科学講座（職）助教（氏名）林学

【人体から採取された試料等の利用について】

なし

【他の機関等への試料等の提供について】

なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 阿部和道

電話:024-547-1202 FAX: 024-547-2055

E-mail:k-abe@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 阿部和道

電話:024-547-1202 FAX: 024-547-2055

E-mail:k-abe@fmu.ac.jp